

科目名	行動分析学特論 I	担当教員	杉山尚子
科目属性	専門科目 B	単位数	2単位 (面接 0.5 単位)
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>この授業の目的は、教え手が学習者のよりよい学びを支援するために、心理学がこれまで蓄積してきた「学習と行動」に関する知見を身につけ、それを実践できる力を養成することです。学習とは、ヒトを含む動物が経験を通して比較的長期にわたって行動を変容させていく過程であり、経験による行動変容の原理として、レスポナント条件づけとオペラント条件づけの2つがあります。本科目では、はじめに、この2つの条件づけによる学習の原理を学び、個体が環境とどのような相互作用をもちながら、環境に適応していくかについて、代表的な行動心理学である行動分析学の研究成果をもとに学びます。</p> <p>本科目の具体的な到達目標は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 行動分析的な行動観を身につける 2. 行動の諸原理を理解する 3. 日常生活における行動を行動の原理によって分析できる 4. 日常生活における行動の問題を行動の原理によって改善できる 5. 行動の観察・測定・記録ができるようになる 6. 測定した客観的な行動データに基づいた介入プランが立てられるようになる 			
<p>【授業計画】</p> <p>本科目の15回の授業計画は、以下のようになっています。</p> <p>第1回：行動分析的とは何か</p> <p>第2回：徹底的行動主義とは何か</p> <p>第3回：行動とは何か</p> <p>第4回：行動の種類：レスポナント行動とオペラント行動</p> <p>第5回：行動随伴性とは何か</p> <p>第6回：行動の諸原理について</p> <p>第7回：好子出現の強化</p> <p>第8回：嫌子消失の強化</p> <p>第9回：嫌子出現の弱化</p> <p>第10回：好子消失の弱化</p> <p>第11回：消去と復帰</p> <p>第12回：分化強化と分化弱化</p> <p>第13回：シェイピングとチェイニング</p> <p>第13回：強化スケジュール</p> <p>第14回：刺激性制御</p> <p>第15回：研究法</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>授業は、スクーリングと教材学習の両者、そして科目修得試験に合格して単位の認定となります。評価については、スクーリング内容が25%（事前課題含む）、レポート課題が25%、科目修得試験</p>			

50%の割合で総合しての評価となります。

【教科書】

杉山尚子他.(1998). 行動分析学入門, 産業図書. ISBN-13: 978-4782890301

【参考図書】

島宗 理.(2014). 使える行動分析学-じぶん実験のすすめ, ちくま新書.

ISBN-13: 978-4480067722

杉山尚子.(2005). 行動分析学入門-ヒトの行動の思いがけない理由, 集英社.

ISBN-13: 978-4087203073